

消費生活センターだより



ちえのわ

NO. 65

(2014. 2. 15)

(発行)

清瀬市消費生活センター

運営委員会

★悪質商法のターゲットは高齢者です！！

全国の消費生活センターに寄せられる65才以上の高齢者からの消費者相談の件数は、平成19年に比べ3割強増加しています。現在も、子どもや孫の名をかたって電話をかけお金をだまし取る「振り込み詐欺(母さん助けて詐欺)」や、公的機関を装いATMに振り込ませる「還付金詐欺」の被害が、まだまだ多くありますが、いま急増しているのは詐欺的な投資勧誘です。以下はこれらについての手口や対処法です。

★怪しいもうけ話の「金融商品等の取引名目詐欺」

①投資勧誘

★犯人の手口…複数の業者名で電話をかけ、架空の次世代エネルギーや最新技術研究会社などへの投資話を持ちかけ購入させる手口で、風力発電や太陽光発電に関する「権利」や「証書」の購入、天然ガス施設運用権、温泉付き有料老人ホーム等の利用権が投資の対象とされています。

♥対処法…パンフレットの記載内容や募集要項をよく読み、契約内容が分かりにくい場合は、絶対に契約しないこと。「高値で買い取る」「代金はすべて当社が支払う」といったうまい話は信じず、きっぱり断ることで。

②未公開株等の勧誘

★犯人の手口…株式市場に上場されていない未公開株の購入を勧められたが、購入後「株券が届かない」「上場の予定がない」「買付代金を渡した後、業者との連絡が途絶えた」などのトラブルが発生しています。詐欺グループは、複数の業者名をかたって「値上がりが確実」「買い取りをします」とおいしい話を持ちかけます。被害にあった人たちが悪質業者から、被害回復を持ちかけられ、さらにお金をだまし取られる二次被害も増加しています。

♥対処法…未公開株や社債の販売ができるのは、登録を受けた証券会社と未公開株の発行会社に限られており、その他の業者が行うのは違法です。金融庁のウェブサイト登録業者かどうか確認できます。複数の業者から「未公開株を高く買い取るから購入して欲しい」、といわれたら詐欺なので絶対購入しないことです。

上記の他にも将来円にすればもうかると「外国通貨の両替の勧誘」をし、両替させる手口などがあります。業者は国内で取り扱いが少ないスーダンやアフガニスタンの通貨等を勧めますが、これらの通貨は高値で買い取られることはありません。

ちょっと変だなと思うことがあったら、身近な人(家族や友人)に話してみましよう！ 困った時には、消費生活センター(042-495-6212)へ相談を。消費生活センターでは、社会福祉協議会や地域包括センターと連絡を取り合いながら、高齢者や障がいのある方の消費者被害の早期発見と救済に努めています。



第 31 回エコまつりが 2 月 6 日～8 日に開催されました。

(6 日) 学習会「放射能と食と子どもの安全・健康」

(7 日) バザー & きよせおもちゃ病院メンバー養成講座



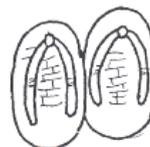
石けん販売



手づくりハムの
ラップサンド

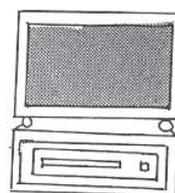


軽食



布ぞり

リサイクルバザー



DVD鑑賞

(8 日) 団体交流会 & DVD鑑賞「エコセメント製造施設
による放射能汚染と被曝リスク」

消費者団体と東京都との協働による学習会 「放射能と食と子どもの安全・健康」

講師は、「八王子中央診療所」理事長の山田 ^{まこと}真さんです。公害・医療被害・障がい児の就学などの運動に関わりながら、小児科医として40年間診療を続けながら、現在、「子どもたちを放射能から守る全国小児科医ネットワーク」の代表をされています。当日は 60 名の参加があり、子育て世代の参加者が目立ちました。原発事故以来、関心の深い放射能についての内容の濃いお話に皆熱心に聞き入りました。(2月6日 10時～ 消費生活センター会議室)

[講演要旨]

原子力発電が出来たころ、「原子力は未来を切り開く夢のエネルギー」と言われ、その後 54 基もの原子力発電所が、次々と日本全国につくられた。しかし、チェルノブイリや福島原発事故を経験し、実はとても危険なものであるということが多くの人に認識されることになった。放射能による被害については分からないことが多く、子どもたちの成長を注意深く見守っていき、記録を取っておくことが大切である。

福島の実状

◇2011 年 6 月より毎月福島で「健康相談会」を開いているが、最初は 400 人もの人が相談に訪れたが、今は少なくなってきた。何か要望はと尋ねても何も出てこない。その理由は行政へ要望を出しても何もしてくれない…。何か言っても仕方がない…。福島の人たちはそういったあきらめムードになっている。

◇「被災者支援法」が作られたが、法律が出来ただけで結局何もされておらず、たった一つできたことは、高速道路無料化だけである。

◇避難している多くの人は、ふるさとである福島に帰りたいと思っている。子どもがいじめにあたり、間違った情報が流れ、福島から避難していることを隠して生活している人もいる。高校受験を機に、またいろんな事情で福島に帰ってきている人も多い。

◇今、福島では線量の測定もあまり行われていない。原発再稼働を勧めたい政府の方針があるためか「福島は危険地域ではない、安全な町になった。」というPRが行われている。

放射能への危惧

◇どれくらいの量でどれくらい危険か、分かっていない。例えば、レントゲン胸部X写真一枚で 0.05～0.07 ミリシーベルト、CT一枚で 6.9 ミリシーベルトの放射線を浴びることになる。すなわち、CT一枚でレントゲン 100 枚分の放射線を浴びることになる。そのCTは世界中の 3 割を日本が持っている。危険性があると思われるが、長期にわたり調べてみないとはっきりと言いきれない。少なくとも発がん率は上がってくる可能性はある

◇2012年2月福島の高校生10人のセシウムを測定。3ヶ月後9人は減っていたが、福島に残っていた1人だけ増えていた。新陳代謝の早い子どもはその土地から離れることにより、放射性物質は体外に排出されるので、1か月程度線量の多い場所から離れて住むことを勧める。

◇甲状腺がんが多く発見されるようになってきた。検査をやっていなくてデータがない。何年も経ってから大丈夫と分かったりすることもあるが、放射能に対する不安をなくしてはいけない。空間線量は避けられないが、食べ物などに気をつけてこれ以上放射線を取り込まないということが大切である。福島の人たちのためにも、早く安心して生活できる社会にしていきたいと思う。

♣講演後のアンケートより

- ◇ もうすぐ原発事故から3年経つが、自分自身どうしても意識が薄れつつあったのでこういった学習会に出て、また意識が高く持てるようになったのでよかった。(30代女性)
- ◇ 放射能に関してはどういう影響があるかは、誰にも分からないということがわかった。注意をしていくしかない。市民が関心を持ち続けて2度とこういう事故が起きないようにしなくてはならない。(40代女性)

これからの家計と生活設計 その4

一よりよく「生きる」一 ライフプラン最終章は「終活」です

人は生まれると同時に死に向かって生きていく運命です。誰も死を逃れることはできません。元気で若いうちは死を意識することはなく、日々の生活や仕事にとあわだしく時を過ごしていますが、一度重い病気や高齢という事態になって初めて死と向き合い、残された時間をどのように過ごすかという問題に直面します。それと同時にこれから、どう生きていこうかと考える時間が持てる時でもあります。今までは家族のため、といったことが先立ち自分は二の次になることが多かったのではないのでしょうか。これからは、自分らしく悔いのない日々を送ることに全力を注げる時でもあります。それと同時に身の回りの整理をしておくことも遺される家族への思いやりとなることでしょう。

昔は「万一の時どうしてほしいか」ということは、家族と一緒に暮らす中で自然と伝わっていたものですが、現代は少子化や核家族化など様々な事情により家族間のつながりが薄れ、伝えることが難しくなっています。そこで書面に書き残す作業が必要になったといえます。「自分自身の今までの生き方を再認識するきっかけができる」、「家族とのコミュニケーションが生まれる」等、色々なことを気づかせてくれます。

この先をどのように前向きに生きられるか、エンディングノートは自分史のまとめと、この先を「よりよく生きる」ためのきっかけをつくることになるでしょう。



◎エンディングノートには具体的にどんなことを書き込めばよいか。

エンディングノートには将来、自分に万一のことがあった時に備えて、家族やまわりの人に残しておきたいことを記入します。

▼医療や介護・・・現在の健康状態(血液型、アレルギーの有無、かかりつけ医、持病、常備薬)自分の代わりに医療処置について判断してほしい人、病名や余命告知、末期状態の延命処置、臓器提供、献体、現在受けている介護サービス、介護費用、介護してもらいたい人など

▼葬儀やお墓・・・生前予約の有無、葬儀の際の宗教、予算、葬儀の場所、戒名や祭壇、御棺に入れてほしいもの、参列者へのメッセージ

▼財産管理・・・預貯金、株式、投資信託、不動産、貸付金、クレジットカード、年金、生命保険、住宅ローンなどの債務状況や保管場所

▼遺産相続・・・遺言書の有無、相続人と相続分割内容、形見分けなど

▼気がかりなこと・・・仕事の処理、ペットの世話、パソコンや携帯電話などの処理、日記・写真の処分、脱退手続きが必要な団体名、大切な人へのメッセージなど

戦後右肩下がりであった死亡者数は、1960 年を境に年々増加してきています。今後急激に少子高齢化が進むことから、厚生労働省の予測でも高齢者の死亡者数は増加していく見通しです。したがって、葬儀産業はこれからの最大の成長産業だともいわれています。

では、葬儀費用は現在どのくらいかかるのでしょうか？「2010 年版現代葬儀白書」では、葬儀に掛かった費用の平均は以下のようになっています。家族葬が多くなってはいますが、まだ、かなりの金額となっています。

[1都3県とは(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)]

地域	A 葬儀費用一式	B 会葬者への接待費	C 寺院費用	D 葬儀費用総額
1都3県	124.0 万円	65.7 万円	52.6 万円	242.3 万円

A:葬儀業者へ支払った費用 B:会葬者への接待費(飲食、香典返し、お手伝いへのお礼など) C:宗教者(お寺、神社、教会等)への謝礼(お布施、祭祀料、お礼等)

最近、葬儀も簡素化される傾向にあり、身内だけで葬儀を行う傾向が強まっていますが、それでも死亡者の増加に伴い、葬儀や墓を巡るトラブルは年々増加してきています。以下は全国の消費生活センターから集められた相談事例の一部です。この他葬儀に伴う苦情として、互助会に関するものも多くあります。

葬儀サービスに関する苦情としては、「価格や内容について十分な説明がない」「質素な葬儀を希望したのに高額な料金を請求された」「葬儀内容や係員の態度に不満」などがあります。墓に関する苦情としては、「墓石の契約をしたが、クーリングオフの規定があるのに解約できない」「石材店と墓の契約を結んだが、寺の了解が得られない」などです。互助会に加入していた場合には、「契約していた金額の何倍もの葬儀費用がかかった」「互助会の解約料金が非常に高額」などの相談が寄せられています。

国民生活センターからのアドバイスとしては、「見積もりなどを確認し、納得してから契約すること」「生前にどのような葬儀を行いたいかを考えておくこと(生前に業者は相談に乗ってくれます)」「困ったときは消費生活センターに相談すること」です。

私たちは、日常生活では「死を意識すること」を避ける傾向がありますが、「死に向きあうことは、よく生きること」でもあります。この機会によく生きることの意味を考えたいものです。

(出展 国民生活センターHP等より)

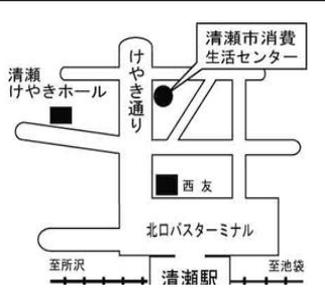
(ファイナンシャルプランナー 可香正子、
消費生活アドバイザー 八代田 道子)



【清瀬市消費生活センター】

所在地:〒204-0021
清瀬市元町1-4-17
電話:042-495-6211
FAX:042-495-6221
開館時間:9時~22時(月~土曜日)

相談電話(専用):042-495-6212
相談時間:月~金曜日(祝日除く)
10時~12時、13時~16時



ちえのわ 65 号の音訳があります。ご希望の方は消費生活センターへご連絡下さい。

つぶやき

- 原発、食の安全、TPP問題、子どもの今と未来、あの手この手の悪質商法、いろいろすべて良かったです。(下神 あき子)
- 2年間あっという間でした。編集委員の方々と知り合いになれたこと、たくさんことが学べたことに感謝です。(大森 郁子)
- 消費者問題に関心を持ち学ぶことの多かった2年間でした。これからも色々なことにトライしていきたいです。(栴井 みつえ)
- 不安に思うことが多いこの頃ですが、これからも正しい知識が得られるよう活動していきたいです。(目黒 かほる)
- 消費者市民社会を形成していくには、自分の頭で考え行動していくことができる教育が何より必要です。(八代田 道子)